

令和7年度 社会教育委員会（第3回） 議事要旨

◇日 時

令和7年9月2日(火) 午後7時～午後8時

◇会 場

生涯学習センター 2階 学習室2

◇出席者

【委員】小田委員長、杉山副委員長、原田委員、鎌田委員、小澤委員、
山内委員、原委員、古地委員、吉川委員、高島委員、渡辺委員

【事務局】高梨教育部長、勝又教育監、古谷生涯学習課長、勝俣主幹、小林主査

◇会議次第及び内容（○は委員の発言）

1 開 会 （事務局）

自己紹介（勝又教育監、原田委員）

2 委員長あいさつ

3 諮 問

風間教育長から小田委員長へ諮問書を手交

【諮問事項】

社会教育の役割と今後の取り組みについて

1. 社会教育を推進する団体のあり方について
2. 家庭教育を支援する教育環境の整備について

（教育長退席）

4 報告事項

- ・各種委員会の会議報告等
- ・裾野市民生委員推薦会委員 任期満了に伴い吉川委員選出を事務局から報告
- ・山内委員より裾野市民芸術祭について情報共有

（協議事項は委員長が進行）

5 協議事項

- (1) 過去の諮問答申の共有
- (2) 今回の諮問内容について

【過去の諮問答申内容及び今回の諮問内容説明】（事務局）

【調査研究の進め方】（事務局）

- ・家庭・地域・行政それぞれの立場・それぞれの面から、こういった支援や関わり方、環境整備が必要かご意見をいただくため、次回次々回と熟議を重ね、今年度中に答申に向けた方向性を固めていく旨を事務局より説明。

○高梨部長 諮問答申になった経緯について補足説明。

- ・市では現在、「第3次教育振興基本計画」を策定中である。本計画は教育行政にとって最上位計画であると捉え見直しに取り組んでいる。その中でも今回大きく充実させたいものが二つある。
- ・一つがインクルーシブな多様性を尊重した教育。年齢、性別、国籍、障害の有無に関係なく、一人一人を受け入れるインクルーシブな視点を全方位で取り入れていく。

- ・ もう一つが社会教育の充実である。令和 9 年には部活動の地域展開が図られる。学校教育と社会教育を融合させていくものになる。地域団体とともに、子どもたちの学ぶ機会を確保する必要がある。また、裾野市の高齢化率も 40 % に上がっていくことが今後見込まれる。生きがいを持ち地域で居場所を作りながら活躍いただく場が、社会教育の場でもあると捉えており、部活動の地域展開や居場所づくりといった点からも社会教育の充実を図るためにも、ご意見をいただきたい。
- ・ 来年 1 月頃に答申の中間報告をいただくことで、具体的なものまでは難しくとも、皆様のご意見を織り込み取り入れながら第 3 次教育振興基本計画を策定したいと考えている。そのためにも、今回諮問という形をとらせていただいた。

(各委員)それぞれの立場において諮問を受けて感じた意見や感想等を共有。

(3) 市民活動の集いについて

- ・ 古地実行委員より報告

CS（コミュニティ・スクール）担当課である学校教育課本田指導主事と情報共有した旨を報告。

○小田委員長

CS 等で培われた「つながり」が生み出した、地域の教育力が発揮されているような好事例に特化した発表会の実施を想定している。発表者や日程については未定。今後実行委員会で調整を進め、会議の場で共有されたい。

6 その他

- ・ 10／8 令和 7 年度社会教育実践研修（静岡市 午前開催）

小田委員長、市川委員、古地委員出席予定。後日案内。

- ・ 第 4・5 回会議の日程について

第 4 回開催日：10 月 7 日（火）19:00～ 生涯学習センター 2 階 学習室 2

第 5 回開催日：11 月 27 日（木）19:00～ 生涯学習センター 2 階 学習室 2

7 閉 会（杉山副委員長）